

SNSの隆盛と オールドメディアの衰退

およそ3年半前から、コロナウイルス感染について、テレビや新聞を始めとするマスメディアが大騒ぎをしてきました。

志村けんさんの訃報がテレビで流された時は、全国民が恐怖のどん底につき落とされたかのようでした。

YouTubeは、誰でも自由にチャンネルを開設でき、自分の趣味や思想を数分から数10分に編集して流せる最も有名なSNS（Social Networking Service）です。

内部規約があり、規約に違反するとチャンネルの一部又は全部が削除されてしまうこともあります。人気YouTuberはヒカキンさんをはじめ大勢います。芸人や政治家も多数、チャンネルを開設しているようです。私は自分のチャンネルこそ持っていませんが、真実追究系のチャンネルや、武田邦彦先生、百田尚樹氏、北村弁護士のチャンネル、趣味の将棋や麻雀のチャンネルなどを登録してよく視聴しています。

一方、Twitter（現、「X」）とは、各自が自分のニックネームのようなアカウント名を決めて不特定多数の皆さんのつぶやきを見るところというかなり有名なSNSの一つです。Twitterアカウントは10年前に作っており、ほとんど傍観しているだけでしたが、コロナ騒動をきっかけに、私が小児科医であること、自院のHPアドレスを明らかにしてつぶやいてみたところ、次第にフォロワーが増えてきて、ついには2万人を超えました。

現在、私はテレビのニュースはほとんど観ません。というのは、私は、テレビの報道より、



SNS上の情報の方がより確からしいことが多いと考えているからです。

Twitterは、CEOがイーロン・マスク氏に代わって以来、以前よりも風通しが良くなり、発言がより自由になったように感じています。Twitterには、「スペース」という機能があります。これは、誰か一人がホスト役になり、話すテーマを決めて一つの仮想の談話室を作ることで、聞きたい談話室にスピーカーやリスナーとして自由に参加するというものです。

時に熱い議論になり、誰かから罵声が飛んだりすることもありましたが、考え方が合う人とは、友人になることさえあります。

有名人本人のアカウントは、やはりフォロワーが非常に多く集まります。匿名の一般人でも、つぶやきの内容が面白ければ、フォロワーがぐんと増えます。いかにフォロワーを増やすかに血道を上げる人もいます。

すでに多くの方が慣れ親しんでおられると思いますが、何か、自分の主張を聞いてもらいたい人や、有益な情報をより多く得たい方はYouTubeやTwitterをやってみてはいかがでしょうか。